

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（10）
2. 日時：令和5年5月10日（水）15：00～19：30
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

皆川副主任技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、市川係長、伊藤係長、今田係員
審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部設備技術グループ 副長 他1名※

中部電力 原子力本部 原子力部 運営グループ 課長※

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他14名※

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

5. 要旨：

- 原子力事業者等から、これまでの面談において原子力規制庁より検討するよう伝達していた長期施設管理計画の検討状況について、資料に基づき説明があった。
 - 原子力規制庁から、代表機器の選定理由や評価対象の一覧等を具体的に記載すると共に、各項目の記載ぶりを資料全体で整理するよう伝達した。
- また、長期施設管理計画の構成について高経年化対策上着目すべき事象として抽出した事象との整合も踏まえ、引き続き検討するよう伝達した。○原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。
- 原子力規制庁から、次回の高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームにおいて示す資料（長期施設管理計画の記載案）の準備を進めるよう伝達した。
 - 原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 長期施設管理計画（案）